

下水道新聞



発行者 岩崎心音

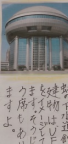
2013年8月

反応槽にいる生物が汚水を食べたり分解して水をきれいにしてくれています。



有明水再生センターへ行ってきましだ

私たちが使ったあとのよき水は排水や雨水はどのようにしてきれいな水になり川や海にもどされていくのでしょうか？それを調べるために江東区にある有明水再生センターに行ってみました。
処理施設の大部分を地下式とし、上部には江東区の体育館温水プールやスポーツジム、テニスコートが設置され利用できています。東京は土地の値段が高いため地下施設の上は有効活用出来るように作られています。



右の写真は上から見た写真です。入口から約二重のガラスを挟んだトンネルに続いてきました。



～水再生センター～



①沈砂池

下水のなかには大きな石やゴミなどが入りこまいます。

②第一沈ん地

こまかいゴミを2時間ほどゆっくり沈め、

③反応槽

生物が污水の中をかき混ぜることで、水中のゴミが分解されやすくなります。



④第二沈ん地

反応槽から流れてきた水をこの池で沈めます。



きれいにした水をさらにきれいにします。

⑤再生水施設

きれいにした水をさらにきれいにします。

⑥泥処理施設

泥をばいにしてくらして利用出来ます。

⑦塩素接触槽

きれいにした水を殺菌し川や海へ放流します。



下水道は私たちのくら生活にとても必要なものだと思います。雨が降ると下水道が溢れるか想像するだけでおそろしい世界です。私たちから出る水は地球上の水の90パーセントしかありません。下水道処理は大切な水資源です。一人一人が水を大切にしてください。

私たちに出来ること

- ① 下水道に油を流さないでください。
- ② 雨水まですに落ち葉やゴミを入れない。
- ③ トイレにトイレットペーパー以外の物を流さない。



- ① 快適な生活環境を確保します。
- ② 浸水から街を守ります。
- ③ 地球環境を守ります。

下水道の役割

